

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月29日

上場会社名 大正製菓株式会社

上場取引所 東

コード番号 4535 URL <http://www.taisho.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上原 明

問合せ先責任者 (役職名) 広報室長

(氏名) 坪井 正樹

TEL 03-3985-1115

四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	61,853	—	11,644	—	12,360	—	7,693	—
20年3月期第1四半期	56,897	4.2	8,174	41.4	9,773	43.3	6,016	48.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	25.87	—
20年3月期第1四半期	20.20	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	625,663	552,953	87.0	1,830.90
20年3月期	627,224	548,650	86.1	1,816.25

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 544,401百万円 20年3月期 540,076百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	12.00	—	15.00	27.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	12.00	—	15.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	124,000	—	15,000	—	16,500	—	9,500	—	31.95
通期	252,000	0.9	33,000	△10.7	37,500	△10.5	22,500	△10.0	75.67

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 320,465,510株 20年3月期 320,465,510株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 23,124,298株 20年3月期 23,106,847株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 297,346,817株 20年3月期第1四半期 297,766,686株

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

セルフメディケーション事業の市場環境は、ここ2年連続して市場規模がわずかながら拡大するなど底打ち感が出てきました。しかし、今年度に入り、東日本、西日本を中心とした例年になく降水量の多さなどの天候不順が店頭環境に影響し、ドリンク剤を主体に前年を下回り一般用医薬品全体の市場規模もマイナスに転じました。

医薬事業についても、医療費適正化諸施策の浸透に加えて、本年4月に実施された薬価改定の影響もあり、依然として難しい事業環境におかれています。

当社グループは、このような環境下、セルフメディケーション事業においては、商品価値訴求に重点を置いた情報提供と店頭消化中心の営業活動の徹底に取り組み、また、医薬事業部門も情報提供活動及び営業力の強化に努めたことにより、当第1四半期の全体売上高は、618億5千3百万円余（前年同四半期比+49億5千6百万円余、8.7%増—以下括弧内文言「前年同四半期比」省略）となりました。事業部門別の売上高は次の通りであります。

セルフメディケーション事業	386億円余	(+39億円余	11.5%増)
内訳			
一般用医薬品等	356億円余	(+38億円余	12.2%増)
特定保健用食品等	23 "	( —	— )
その他	6 "	(+ 1億円余	20.4%増)
医薬事業	232億円余	(+ 9億円余	4.4%増)
内訳			
医療用医薬品	199億円余	(+ 5億円余	2.7%増)
その他	20 "	(△ 3 "	13.7%減)
工業所有権等使用料収益	11 "	(+ 7 "	187.1%増)

事業部門別の売り上げ状況は次の通りです。

## ＜セルフメディケーション事業＞

当第1四半期売上高は、386億円余（+39億円余、11.5%増）となりました。

ドリンク剤「リポビタミンシリーズ」については、ドリンク剤市場が低迷する中、ノンシュガー・低カロリー処方「リポビタミンファイン」などのシリーズ品が堅調に推移し、シリーズ全体で197億円余（0.6%減）の微減となりました。

風邪薬「パブロンシリーズ」は、主力品の総合感冒薬が天候不順の影響もあり順調で、43億円余（35.9%増）と伸ばしました。

壮年性脱毛症における発毛剤「リアップシリーズ」は、昨年度に発売した新製品「リアッププラス」の寄与等により27億円余（32.1%増）となりました。

その他のブランドでは、ミニドリンク剤「ゼナシリーズ」が9億円余（14.0%増）、便秘薬「コーラックシリーズ」はシリーズ全体で9億円余（19.8%増）、「胃腸薬シリーズ」は9億円余（15.7%増）と堅調に推移しております。

特定保健用食品等の「リビタシリーズ」は、7億円余（22.9%増）と堅調でした。

## ＜医薬事業＞

当第1四半期売上高は、232億円余（+9億円余、4.4%増）となりました。

国内の医療用医薬品事業は、主力品のマクロライド系抗菌薬「クラリス」が薬価改定の影響もあり、56億円余（7.1%減）となりました。その他の主力品につきましては、末梢循環改善薬「パルクス」は28億円余（1.9%減）、非ステロイド性消炎鎮痛剤「ロルカム」は10億円余（5.7%減）と減少したも

の、注射用ペニシリン系抗菌薬「ペントシリン」は14億円余（1.4%増）、セフェム系抗菌薬「トミロン」は7億円余（6.1%増）と堅調に推移しております。

その他製品の売上高は20億円余（13.7%減）となりました。

工業所有権等使用料収益は、米国ファイザー社に導出した統合失調症治療薬候補物質TS-032に関するマイルストーンフィーなどがあり、11億円余（187.1%増）となりました。

コスト面につきましては、販促費などを中心として見直しを進め、販売費及び一般管理費はほぼ前年並みにとどまりましたことから、営業利益は116億4千4百万円余（42.5%増）、経常利益は123億6千万円余（26.5%増）、四半期純利益は76億9千3百万円余（27.9%増）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末比15億円余減少し、6,256億円余となりました。

流動資産は、現金及び預金が75億円余減少したことなどにより、81億円余減少しました。

有形固定資産は18億円余の減少、投資その他の資産は、債券の購入等による投資有価証券の増加などにより76億円余増加しました。

流動負債は、未払法人税等の減少などにより54億円余減少し、固定負債は4億円余減少しました。

純資産は、利益剰余金が32億円余増加したことなどにより、43億円余増加し5,529億円余となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

## 4. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### ① 簡便な会計処理

##### ・固定資産の減価償却の方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産の減価償却費につきましては、連結会計年度に係る減価償却の額を期間按分して算定しております。

##### ・経過勘定項目の算定方法

経過勘定項目については、合理的な算定方法による概算額で計上しております。

##### ・法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

#### ② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

### (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### ① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- ② 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来、総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ22百万円減少しております。
- ③ 当第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響はありません。
- ④ 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）が平成20年4月1日以降開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に対する影響はありません。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については引き続き通常の賃貸借処理に係る方法に準じた会計処理によっております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	120,408	127,955
受取手形及び売掛金	60,211	61,625
有価証券	24,689	25,195
商品	3,404	3,269
製品	11,049	10,471
原材料	5,950	5,978
仕掛品	2,344	2,677
その他のたな卸資産	2,000	1,677
繰延税金資産	7,903	7,941
その他	3,570	2,907
貸倒引当金	△243	△236
流動資産合計	241,289	249,463
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	51,072	51,998
機械装置及び運搬具(純額)	10,530	11,126
土地	29,657	29,657
建設仮勘定	167	167
その他(純額)	3,911	4,198
有形固定資産合計	95,337	97,149
無形固定資産		
のれん	15,654	15,852
営業権	50	54
商標権	3,008	3,197
ソフトウェア	4,677	3,450
その他	184	197
無形固定資産合計	23,575	22,751
投資その他の資産		
投資有価証券	228,134	216,968
関係会社株式	28,404	29,679
長期前払費用	1,194	1,823
繰延税金資産	2,737	4,953
その他	5,254	4,753
貸倒引当金	△263	△320
投資その他の資産合計	265,460	257,858
固定資産合計	384,374	377,760
資産合計	625,663	627,224

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,204	20,159
短期借入金	270	260
未払金	9,768	12,660
未払法人税等	5,421	9,730
未払費用	12,516	7,188
返品調整引当金	680	773
賞与引当金	1,475	4,292
その他	904	577
流動負債合計	50,241	55,643
固定負債		
長期借入金	1,050	1,050
退職給付引当金	15,337	15,128
役員退職慰労引当金	1,233	1,929
繰延税金負債	814	740
その他	4,032	4,083
固定負債合計	22,468	22,930
負債合計	72,710	78,573
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	29,804	29,804
資本剰余金	14,935	14,935
利益剰余金	537,781	534,550
自己株式	△46,472	△46,437
株主資本合計	536,048	532,852
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,006	9,630
繰延ヘッジ損益	△5	△14
為替換算調整勘定	△4,647	△2,392
評価・換算差額等合計	8,352	7,223
少数株主持分	8,551	8,573
純資産合計	552,953	548,650
負債純資産合計	625,663	627,224

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	61,853
売上原価	19,854
売上総利益	41,998
返品調整引当金戻入額	761
返品調整引当金繰入額	668
差引売上総利益	42,092
販売費及び一般管理費	30,447
営業利益	11,644
営業外収益	
受取利息	1,093
受取配当金	659
不動産賃貸料	7
その他	221
営業外収益合計	1,982
営業外費用	
支払利息	4
持分法による投資損失	1,216
その他	44
営業外費用合計	1,266
経常利益	12,360
特別利益	
固定資産売却益	0
過年度損益修正益	891
貸倒引当金戻入額	28
特別利益合計	920
特別損失	
固定資産処分損	18
特別損失合計	18
税金等調整前四半期純利益	13,262
法人税等	5,437
少数株主利益	131
四半期純利益	7,693

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	13,262
減価償却費	2,625
のれん償却額	205
固定資産売却損益(△は益)	△0
固定資産処分損益(△は益)	18
過年度損益修正損益(△は益)	△891
受取利息及び受取配当金	△1,752
支払利息	4
持分法による投資損益(△は益)	1,216
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△44
退職給付引当金の増減額(△は減少)	214
前払年金費用の増減額(△は増加)	△827
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△695
賞与引当金の増減額(△は減少)	△2,815
売上債権の増減額(△は増加)	1,302
たな卸資産の増減額(△は増加)	△710
仕入債務の増減額(△は減少)	△876
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	3,505
長期未払金の増減額(△は減少)	△64
その他	△289
小計	13,385
利息及び配当金の受取額	1,679
利息の支払額	△4
法人税等の支払額	△9,720
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,340
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の増減額(△は増加)	5,240
有形固定資産の取得による支出	△1,609
有形固定資産の売却による収入	1
無形固定資産の取得による支出	△63
無形固定資産の売却による収入	1
投資有価証券の取得による支出	△6,048
長期前払費用の取得による支出	△137
その他	196
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,418
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入れによる収入	65
短期借入金の返済による支出	△55
自己株式の取得による支出	△34
配当金の支払額	△4,218
少数株主への配当金の支払額	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	△586
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,012
現金及び現金同等物の期首残高	72,621
現金及び現金同等物の四半期末残高	70,609



当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(百万円)

	セルフメディケーション事業	医薬事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	38,649	23,203	61,853	—	61,853
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	38,649	23,203	61,853	—	61,853
営業利益	8,863	2,781	11,644	—	11,644

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

本邦の売上高金額は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)	
	金額 (百万円)	百分比 (%)
I 売上高	56,897	100.0
II 売上原価	18,418	32.4
売上総利益	38,479	67.6
返品調整引当金戻入額	889	
返品調整引当金繰入額	956	
差引売上総利益	38,413	67.5
III 販売費及び一般管理費	30,238	53.1
営業利益	8,174	14.4
IV 営業外収益		
1 受取利息	1,105	
2 受取配当金	577	
3 不動産賃貸料	26	
4 その他	139	
営業外収益合計	1,849	3.2
V 営業外費用		
1 支払利息	1	
2 持分法による投資損失	141	
3 その他	107	
営業外費用合計	249	0.4
経常利益	9,773	17.2
VI 特別利益		
1 固定資産売却益	0	
特別利益合計	0	0.0
VII 特別損失		
1 固定資産処分損	1	
特別損失合計	1	0.0
税金等調整前四半期純利益	9,771	17.2
法人税、住民税及び事業税	3,698	6.5
法人税等調整額	6	0.0
少数株主損益	50	0.1
四半期純利益	6,016	10.6

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期第1四半期)
区分	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	9,771
減価償却費	3,273
受取利息及び受取配当金	△1,683
有形固定資産売却益	△0
退職給付引当金増減額(減少:△)	△674
賞与引当金の増減額(減少:△)	2,624
売上債権の増減額(増加:△)	3,723
たな卸資産の増減額(増加:△)	△2,837
仕入債務の増減額(減少:△)	1,747
その他	△4,809
小計	11,135
利息及び配当金の受取額	2,316
利息の支払額	△1
法人税等の支払額	△6,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,311
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の売却及び償還による収入	2,000
有形固定資産の取得による支出	△1,378
有形固定資産の売却による収入	1
投資有価証券の取得による支出	△10,929
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,000
その他の資産増減額(増加:△)	△253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,559
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
自己株式の取得による支出	△75
配当金の支払	△7,453
その他財務活動フロー	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,538
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	16
V 現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△9,770
VI 現金及び現金同等物期首残高	68,381
VII 現金及び現金同等物期末残高	58,611

## (3) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

(百万円)

	セルフメディ ケーション 事業	医薬事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	34,663	22,233	56,897	—	56,897
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,663	22,233	56,897	—	56,897
営業費用	29,466	19,256	48,723	—	48,723
営業利益	5,197	2,976	8,174	—	8,174